

頑張る

# 農業法人

木津川堤防の右岸に水田や畑が広がる久御山町佐山地区で、3代続く家族経営農家が、規模拡大で地域農業を守り続けようと設立した農業法人「(有)グリーンハウス南」。

ハウス17棟で小松菜を周年栽培する他、地区の遊休田を活用して水稲1・4畝を経営する。「今後、地域に貢献する法人を目指したい」と意欲的だ。

代表取締役の南和弘さん(45)は、2代目の両親・勲さん(77)、佐和子さん(75)夫妻の長男。視野を広めようと9年間、農業と関係のない運送業に携わった後、就農した。両親は水稲の他、ネギ、ホウレンソウ、菊菜など多品目を栽培していたが、和弘さんは端境期がなく、手間もかからな

い小松菜の周年栽培に挑戦、転作田にハウスを増設してきた。

久御山町でも高齢化、担い手不足が進み、「農地を貸したい」との声もあり、和弘さんは「利益目的でなく、地区の農業を守りたい」との思いが高まり、JA京都やましろに法人化を相談。JAの支援を受けて、2005年10月に和弘さんが代表となり法人を立ち上げた。

小松菜は周年7作と効率化に努める。農作業が忙しい時は地元住民をパートタイマーで雇用する。一方、地元農家に委託していた水稲も、「高齢化で任せられなくなった」と昨年からは自分で耕作している。農機具、ハ

## (有) グリーンハウス南 久御山町

### 17棟で小松菜を周年栽培



ハウスで周年栽培する小松菜の出来具合を確認する和弘さん(手前)と父の勲さん

### 規模拡大し農業守る

ウス設置などコストはかかるが、経営は順調だ。さらに「目標を持った法人化」として、「今後は農地保全に向けた農業受託や地区の農家とグループで加工・販売などに取り組んでいきたい」と意欲的で、地域農業活性化に貢献する法人を目指している。

父の勲さんは「当初、法人化と聞いて、メリツトはわからなかったが、若い息子の熱い思いなので、一緒になってやってきた」と笑顔で話す。

和弘さんも「単に親の後継ぎでなく、人がやりたくなる農業を目指している。法人経営を通じて地域の輪を広めたい」と語る。

▽法人の所在地〓久御山町佐山上ノ坪90の1▽電話〓0774(51)0128